

学校評価シート（自己評価）

ひまわり幼稚園

1、園の教育目標

<教育理念>

温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする

<教育方針>

経験の場をおしひろげた保育

積極的な体力づくり

ご家庭とともに歩む保育

<教育目標>

規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子）

意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子）

話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

2、具体的な目標や計画

評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教員の資質向上	A	各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。また、行事ごとの反省会などで活発に意見を交換することにより、経験の少ない教員の学びにつながった。
教育内容の向上	A	月1回の定例会議（各園から園長を含む数名が参加）などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。
情報発信の充実	B	幼稚園の教育理念や教育方針をより分かりやすく伝えられるようにするため、ホームページの全面的なリニューアルを実施した。
施設・設備の安全対策	B	遊具の木製部分の修繕や園舎内の手すりの設置など、大きな事故やケガにつながる恐れのある箇所を重点的に改良し、安全性の向上に努めた。
子育て支援事業の充実	A	未就園児の子どもや家族を対象とした事業を拡充し、イベント、講習会などに、多くの家庭に参加いただいた。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。 施設に関しては、園舎内や遊具の日常的な点検に加え、必要に応じた施設の改善を行っており、概ね目標を達成できている。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保護者との連携の強化	今年度から希望者を対象として、7月及び12月に個人面談を実施し、幼稚園での様子を保護者に伝えるとともに、子育ての相談にも乗るなど、保護者との緊密度を高めるための取組を行う。
業務の改善	業務の見直しによる日々の取組のほか、業務支援のシステムの導入も検討し、主として事務的な作業を効率化することで、教職員が子どもと向き合う時間をより確保できるように努める。
安全対策	遊具の修繕や監視カメラ等の防犯対策などハード面での対策はもとより、過去のケガや事故の事例をまとめ、どのような場所、時間帯にケガなどが多いかを分析し、今後の安全対策に役立てる。

様式 2

学校評価シート（自己評価）

ひまわり東幼稚園

5、園の教育目標

<教育理念>

温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする

<教育方針>

経験の場をおしひろげた保育

積極的な体力づくり

ご家庭とともに歩む保育

<教育目標>

規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子）

意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子）

話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

6、具体的な目標や計画

評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。

7、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教員の資質向上	A	各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。また、行事ごとの反省会などで活発に意見を交換することにより、経験の少ない教員の学びにつながった。
教育内容の向上	A	月1回の定例会議（各園から園長を含む数名が参加）などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。
情報発信の充実	B	幼稚園の教育理念や教育方針をより分かりやすく伝えられるようにするため、ホームページの全面的なリニューアルを実施した。
施設・設備の安全対策	B	遊具の木製部分の修繕や園舎内の手すりの設置など、大きな事故やケガにつながる恐れのある箇所を重点的に改良し、安全性の向上に努めた。
スムーズな登降園のための対応	A	近隣に駐車場を新たに借用した。送迎の際にやむを得ず、周囲の道路へ駐停車する保護者がいるが、以前に比べ少なくなった。

8、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。 施設に関しては、園舎内や遊具の日常的な点検に加え、必要に応じた施設の改善を行っており、概ね目標を達成できている。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保護者との連携の強化	今年度から希望者を対象として、7月及び12月に個人面談を実施し、幼稚園での様子を保護者に伝えるとともに、子育ての相談にも乗るなど、保護者との緊密度を高めるための取組を行う。
業務の改善	業務の見直しによる日々の取組のほか、業務支援のシステムの導入も検討し、主として事務的な作業を効率化することで、教職員が子どもと向き合う時間をより確保できるように努める。
安全対策	遊具の修繕や監視カメラ等の防犯対策などハード面での対策はもとより、過去のケガや事故の事例をまとめ、どのような場所、時間帯にケガなどが多いかを分析し、今後の安全対策に役立てる。

様式2

学校評価シート（自己評価）

ひまわり南幼稚園

9、園の教育目標

<教育理念>

温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする

<教育方針>

経験の場をおしひろげた保育

積極的な体力づくり

ご家庭とともに歩む保育

<教育目標>

規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子）

意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子）

話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

10、具体的な目標や計画

評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。

11、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教員の資質向上	A	各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。また、行事ごとの反省会などで活発に意見を交換することにより、経験の少ない教員の学びにつながった。
教育内容の向上	A	月1回の定例会議(各園から園長を含む数名が参加)などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。
情報発信の充実	B	幼稚園の教育理念や教育方針をより分かりやすく伝えられるようにするため、ホームページの全面的なリニューアルを実施した。
施設・設備の安全対策	B	遊具の木製部分の修繕や園舎内の手すりの設置など、大きな事故やケガにつながる恐れのある箇所を重点的に改良し、安全性の向上に努めた。
未就園児向け事業の拡充	A	満3歳児クラスを新たに設置した。先行して設置したひまわり東幼稚園、草加ひまわり幼稚園のノウハウを生かし、円滑なクラス運営を行った。

12、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。 施設に関しては、園舎内や遊具の日常的な点検に加え、必要に応じた施設の改善を行っており、概ね目標を達成できている。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保護者との連携の強化	今年度から希望者を対象として、7月及び12月に個人面談を実施し、幼稚園での様子を保護者に伝えるとともに、子育ての相談にも乗るなど、保護者との緊密度を高めるための取組を行う。
業務の改善	業務の見直しによる日々の取組のほか、業務支援のシステムの導入も検討し、主として事務的な作業を効率化することで、教職員が子どもと向き合う時間をより確保できるように努める。
安全対策	遊具の修繕や監視カメラ等の防犯対策などハード面での対策はもとより、過去のケガや事故の事例をまとめ、どのような場所、時間帯にケガなどが多いかを分析し、今後の安全対策に役立てる。

様式 2

学校評価シート（自己評価）

草加ひまわり幼稚園

13、園の教育目標

＜教育理念＞ 温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする ＜教育方針＞ 経験の場をおしひろげた保育 積極的な体力づくり ご家庭とともに歩む保育 ＜教育目標＞ 規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子） 意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子） 話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

14、具体的な目標や計画

評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。
--

15、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教員の資質向上	A	各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。また、行事ごとの反省会などで活発に意見を交換することにより、経験の少ない教員の学びにつながった。
教育内容の向上	A	月1回の定例会議(各園から園長を含む数名が参加)などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。
情報発信の充実	B	幼稚園の教育理念や教育方針をより分かりやすく伝えられるようにするため、ホームページの全面的なリニューアルを実施した。
施設・設備の安全対策	B	遊具の木製部分の修繕や園舎内の手すりの設置など、大きな事故やケガにつながる恐れのある箇所を重点的に改良し、安全性の向上に努めた。
未就園児向け事業の拡充	A	満3歳での入園を希望する保護者が増えてきたことに対応するため、満3歳児クラスを1クラスから2クラスとした。

16、 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。 施設に関しては、園舎内や遊具の日常的な点検に加え、必要に応じた施設の改善を行っており、概ね目標を達成できている。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保護者との連携の強化	今年度から希望者を対象として、7月及び12月に個人面談を実施し、幼稚園での様子を保護者に伝えるとともに、子育ての相談にも乗るなど、保護者との緊密度を高めるための取組を行う。
業務の改善	業務の見直しによる日々の取組のほか、業務支援のシステムの導入も検討し、主として事務的な作業を効率化することで、教職員が子どもと向き合う時間をより確保できるように努める。
安全対策	遊具の修繕や監視カメラ等の防犯対策などハード面での対策はもとより、過去のケガや事故の事例をまとめ、どのような場所、時間帯にケガなどが多いかを分析し、今後の安全対策に役立てる。